

新年のごあいさつ

安城商工会議所会頭 石川 正義



会員の皆さん、明けましておめでとございます。

2008年の新春を清々しくお迎えになられた事と思います。昨年は、安城商工会議所の事業・運営に暖かいご理解とご支援・協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済環境は、回復基調にあるといわれ、なかでも当地域は全国的にみても若干恵まれてはいますが、多くの中小企業にとってはまだ回復の実感が少なく、個人消費も低迷しており、未だ自立的な回復軌道に乗れなかった1年でありました。

これに対し日本商工会議所も政策当局に対し積極的な景気対策や、中小企業を中心の、金融・税制・雇用対策などを要望しているところであり、本年は、景気の拡大を期待しております。こうした中、安城商工会議所も、全国の商工会議所と同じく昨年11月1日より役員改選により新体制ができ、会員並びに小

規模事業者に対し、金融の斡旋を始め、中小企業相談所の経営改善普及事業と各種サービスの充実、また併せて地域の振興を一層図ってまいります。

ところで、当面の課題の一つは、中心市街地に人が集まるような仕掛けを考えなければならぬと思います。幸い若い商業者の皆さんが中心となり、商工会議所、安城市を始め各種の市民団体、高等学校などを巻き込んだ「まちづくりAnno」による「サンクスフェスティバル」で活性化を図っており、また「安心・安全な」健全なまちづくりを推進するため空き店舗対策事業や各種のソフト事業を継続してまいります。中心市街地の更生病院跡地は、懇話会で「健康」「交流」をコンセプトにした提案がされましたが、早く実行していただきたいと思えます。

また、当地域の課題としては、有効求人倍率が高く人手不足であり、雇用対策事業として大学の進路指導担当者との情報交換会等、会員のニーズにあった有意義な事業の推進を図りたいと存じます。

本年当所は、創立55周年を迎えますが、その運動の一環として商工会議所が提供できるサー

ビスを分りやすくPRし、より多くの商工業者のより身近で、より信頼される商工会議所を目指したいと考えており、併せて会員増強の推進に力を入れてまいります。

安城市が制定しました第7次総合計画の中で、商工会議所が分担し取り組むべき役割を充分認識し、特に環境首都宣言に對しどう関わり、協力するかも重要な課題だと思えます。また観光事業である安城七夕まつりも本年55回を迎え一層盛大に開催したいと思えます。

役員・議員、会員の皆様方には、今後とも商工会議所の運営につきまして、ご意見、ご提案を頂くとともに一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにあたり、本年が会員の皆様方にとりまして実りの多い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



▲安城七夕まつり

新年のごあいさつ

安城市長 神谷 学



安城商工会議所会員の皆様、新年明けましておめでとございます。平成20年の輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日ごろから市政に対しまして温かいご支援・ご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年11月には役員選任が行われ、新会頭・副会頭のもと益々ご清栄のごこと重ねてお慶び申し上げます。

貴会議所には、中心市街地活性化事業として七夕まつりを始めサンクスフェスティバルや産直市、商業活性化センターの活

用検討等によりまちなかの賑わいを創出し、魅力ある個店の創造や空き店舗システムを活用した新規出店者への支援を推進していただいています。

さらに、雇用対策事業として、各種研修会、人材支援事業、雇用に関した企業と学校とのネットワークづくりなど、本市の企業振興にご尽力いただき深く感謝を申し上げます。

本市におきましても、第7次安城市総合計画で目標としています「社会経済を支える工業の振興」と「市民に密着した商店街づくり」に向け、施策・事業を積極的に推進し、更なる産業振興を図ってまいります。

また、まちづくりの基盤整備となる土地区画整理事業も進んでまいりました。北部・作野地区は終盤を迎え、桜井地区の事業も目に見えるかたちで進捗してまいりました。そして、今年には南明治地区の一部で土地区画整理事業を開始いたします。

一方、懸案事項でありました更生病院跡地利用につきましても、昨年末に中心市街地拠点整備構想策定懇話会より提言をいただきました。この提言を受け、今年度中に跡地の整備方針を策定いたします。



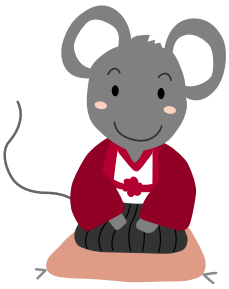
▲更生病院跡地

このように、本市におきましては町並みの整備を積極的に推進し、にぎわいの創出及び活性化を図っております。

さて、本市の財政はこの地域の景気の順風を受け好調な伸びを示してきました。しかし、昨年後半から国際的な通貨不安や原料価格の高騰が続いており、地域経済や市民生活に一抹の不安を与えています。今後、どのような状況にあっても、市民の暮らしを守るように行財政改革を継続実施し、財政の健全性・効率性を堅持してまいります。

そして、子どもからお年寄りまで誰もが健康で安心して暮らせる環境づくりを積極的に推進し、環境首都にふさわしい魅力あるまちづくりに向け一層努力いたします。

終わりに、貴会議所におかれましては、今後も地域社会の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご発展と会員の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。



年頭所感

日本商工会議所 会頭 岡村 正



『個』が光るイノベーションの実現にむけて
人・企業・地域の
あらたな創造

平成20年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

『個』の輝きが日本経済の活力向上

わが国経済は、全体としては堅調に推移しており、大変喜ばしく思っております。しかし、消費は依然として弱く、原油や素材価格の上昇をはじめ、米国・中国等の海外経済の動向など、先行きに対する不安材料も少なくありません。また、地域経済や中小企業においては、いまだに景気回復を実感できないところが多く、地域間の格差も目立ってきているのが現実であります。

一方、経済・社会の面において、わが国はかつてない構造変化に直面し、少子・高齢化対策、財政再建、社会保障制度改革など大きな課題を抱えており

ます。

こうした中、日本経済が早期にデフレから脱却し、持続的な経済成長を実現するためには、経済の根幹を支える中小企業を活性化し、中小企業全体の底上げを図りながら、元気な企業をさらに増やしていくことがますます重要であります。

私は、先の会頭就任にあたり、『個』が光るイノベーション」をスローガンに掲げました。私の提唱するイノベーションとは、技術革新という狭義の意味ではなく、経営手法や行政のあり方を含め広く経済社会全般に通じる改革であり、言い換えれば「勇気ある挑戦」であります。ひとつ一つの企業とそこに働く一人一人の社員、そしてそれぞれの地域が自らの特性を活かしながら、持てる力を十分に発揮して、絶え間なくイノベーションに挑戦していく気概がいま求められていると思います。個別の企業、個別の地域によって抱えている課題は異なりますが、それを乗り越えて目標を達成したときにこそ、企業も地域も輝くことができ、自由で活力にあふれた経済社会が構築されると確信しております。

勇気ある挑戦を応援

21世紀の経済社会では、個人の持つ価値観やニーズの多様化、人・物・サービスの国際移動の活発化などにみられるように、環境変化が激しくかつ急速であり、事業形態のあり方も大きく変化を迫られております。さらに、デジタル化、ネットワーク化の時代の潮流にしっかりと対応しなければ、今日の企業経営は成立しないといっても過言ではありません。こうした変化は時代に対応するには、イノベーションが不可欠です。わが国企業数の97%、従業員数の約7割を占める中小企業が、イノベーションを起こし、日々の経営を革新し、経営の現場を改善することが、ひいては地域全体の活性化に繋がります。当然ながら、個々の勇気ある挑戦が実現するよう、企業や地域を支援する立場にある商工会議所自身においても、きめ細かく、総力をあげてイノベーションに取り組みなければなりません。

全国の声を提言、企業と社会をむすぶ

商工会議所は、あらゆる規模・業種を通じた多くの会員で構成されています。そうしたさまざまな会員から寄せられる多様な多面的な意見や要望、そしてアイデアを、常に個々の会員の視点に立ってくみ上げることに

より、地域に密着し柔軟な調整力を持った唯一無二の「地域総合経済団体」としての役割を担ってききました。

商工会議所の創立者である渋沢栄一翁の思いは「商工業者の声を集約し社会に訴える、そして企業と社会をむすぶ」。これが創立以来一貫した商工会議所の使命であり、また私が常日頃、そして日々新たに心に念じていることでもあります。現在、まちづくりや地方幹線道路等の整備促進、事業承継問題など、商工会議所が取り組んでいる政策課題は多岐にわたっております。今後とも、全国の商工会議所の力を結集して、国や自治体を取り組むべき施策を積極的に提言してまいります。

魅力ある地域づくり、希望に満ち活気あふれる日本の未来を待ち望み、願う気持ちは国民全て皆同じであります。本年は、全国517商工会議所、143万会員それぞれが、独自の強みを存分に発揮し、「個が光る」活動をわが国のいたるところで展開していくスタートの年であると思っております。このため、商工会議所は常に先頭に立ち、そして中心となってこの目標の実現に全力を尽くしてまいります。皆様の一層のご支援とご協力を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

活動報告
ダイジェスト版



11/27
防災講演会

当所は「防災講演会」を開催した。

当日は、講師に名古屋工業大学大学院工学研究科教授の谷口仁士氏を迎え、「BCP観点から見た企業防災」をテーマに東海地震及び東南海地震を想定した被害予測とそれに伴う商工業における被害予測とリスク経済工学の必要性を説明した。



▲防災講演会

12/3
西三河 正副会頭会議

当所が当番幹事で「西三河正副会頭会議」を開催した。役員改選後の新体制での正副会頭が出席し、各々が抱える当面の課題・新規事業等発言があり、中心市街地の活性化については共通の課題であり今後とも情報

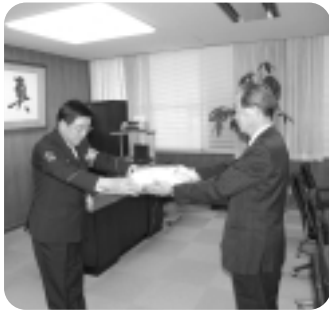
交換を強化して連携していくことを確認した。
会議終了後、山田安城市副市長の「安城市の産業活動と環境―オイルピークにどう備えるか」の演題で講演があり、懇親会では、和やかな中、意見交換がされた。



▲西三河正副会頭会議

12/3
安城警察署を 慰問

愛知県警察官友の会（安城地区代表石川会頭）は安城警察署へ年末の慰問を行った。



▲慰問袋を進呈

12/4・6
会員交流事業

当所は会員交流事業「掛川花

鳥園と可睡斎散策バスツアー」を開催した。

静岡県掛川市の花鳥園を見学し、つま恋にて昼食後は可睡斎を拝観し、航空自衛隊広報館のエアパークを見学した。

2日間で総勢61名の参加があり、会員同士が親睦を深めた。



▲エアパークにて

12/11
大学就職指導担当者 との情報交換会

当所は安城市と共催で、「大学就職指導担当者との情報交換会」を開催した。人材不足に悩む企業と大学の関係を深める目的で、昨年に引き続き2回目の開催。

当日は県内大学の就職指導担当者12名・企業の人事担当者24名の参加があり、講演会「新卒採用と採用後の人事育成のあり方」の後、グループに分かれての懇談会では活発な意見交換がみられた。



▲テーブル意見懇談会

12/18
自民クラブ市議と 正副会頭懇談

当所石川会頭、小西・金子・成瀬副会頭は、自民クラブの市議会議員と懇談した。

石川会頭より11月の議員改選で新体制に変わり、一層の協力をお願いしたいと挨拶した後、10月に安城災害対策建設協力が市議会議長に提出した公共事業等受発注に関する要望書について再度依頼した。

要望の内容は、①入札参加資格基準点の見直しについて、②最低制限価格の見直しについて、③予定価格の公表について、④業者数の見直しについて。



▲自民クラブ市議と懇談

商工会議所の無料相談日

内容	日	時
経営相談	1月9日	午前10時～午後3時
国金相談	1月9・23日	午前10時～12時
税務相談	1月7・8・9・15日	午後1時～4時
IT相談	1月28日	午後1時～4時

今月の金利情報 (1月1日現在)

- ★経営改善資金(マル経) 2.00%
- ★国金普通貸付 2.30%
- ★商工業振興資金(振小) 3年 1.50%
(保証料が必要です)
- 5年 1.60%

安城市民憲章

※たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。

携帯電話
専用サイトは
コチラ!



会 員 事 業 所 訪 問



▲自転車リクシャーが目印です

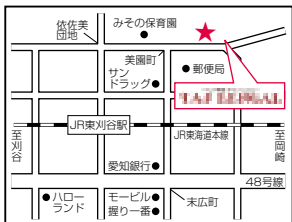
今回ご紹介する事業所は本場のインド料理を気軽に楽しめる『インド料理タージベンガル』です。インド人のご主人がつくる本場のカレーやタンドール釜で焼いたナン、スパイスの中にじっくり漬け込み焼いたタンドリーチキンが大好評です。

こちらのカレーは植物からできたスパイスを独自に調合しており、スパイス本来の奥深い味が堪能できます。辛さを選べることもできるのでお子様から年配の方まで本場のカレーを味わうことができます。またスパイスがきいたカレーは代謝を上げる作用があるので、風邪気味の方にもおすすめです。なかでも珍味なのが、メディアでも取り

本場インドカレーと
焼きたてナン

TAJ BENGAL

クーポン券付



美園町1-23-1
アップルビル1F
TEL・FAX75-9748
サルビアスタンプ加盟店

(山田)

休 水曜定休
タイム

営 11時～14時(ランチタイム)
17時30分～22時(ディナー)

上げられた「羊の脳みそカレー」です。県内でも食べられるのはこちらだけ！白子のような食感で、これだけを食べにやってくるお客さんもいるそうです。

明るい店内は、料理だけでなく、音楽・雑貨・ライブなどインドの雰囲気たっぷりです。寒さ厳しいこの季節、インドの雰囲気を感じながら、スパイスのきいた本場のカレーを食べたつぶり汗をかいてみてはいかがですか。お店の前にある自転車リクシャーが目印です。



▲インド雑貨も充実しています



▲武田信玄 弟 信繁15代目宅 (豊川市)

今回ご紹介する事業所は高棚町にある「(有)三州ルーフ」。

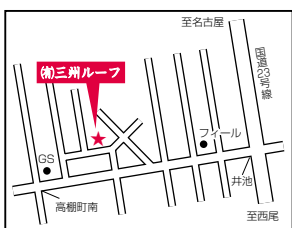
三州ルーフは安城で仕事を始めてから13年を迎え、大手建設会社から個人にいたるまで、幅広いニーズに応えています。

施工実績では社寺仏閣や公共の建設物から一般住宅の新築・補修まであらゆる「屋根」について様々な経験やノウハウを活かして施工してみえます。

主な施工では、「三河ハイツ天の丸別館(幸田町)」や「海のしょうげつ(南知多町)」、「海の文学記念館(蒲郡市)」、「鴨田天満宮本堂(岡崎市)」や「龍泉寺本堂(岡崎市)」など数多くの屋根葺

屋根のことなら

SSR
(有)三州ルーフ



高棚町井荒井137-1
TEL 92-6556
FAX 92-6557
E-mail : ssr92@katch.ne.jp

(岩井)

休 日曜日
てみませんか。

日頃から屋根を気にする方はあまり見えないのでは？この機会に家を守る「屋根」を見直して

きを行ってみえます。

また、「地震に強い屋根」に住む人が安心して住める屋根“を”モットーに、新築以外にも瓦のズレ補修、瓦固定工事や棟下漆喰などの屋根補修(耐風・耐震工事)の施工や屋根の点検、雨漏り補修・修理など多種多様な「屋根」のニーズに応えて仕事をしてみえます。

三州ルーフでは、屋根の相談や見積り点検は無料となっております。契約された方には粗品も贈呈中。



▲妙進寺 (碧南市)

